

# ゆんちき通信

## 246号

11月20日現在  
 子ども会員：131人  
 正会員：40人  
 賛助会員：242人  
 27団体



# 忍者まちを走る



しりたがり	02
おとな塾	03
特集～忍者まちを走る～	04～05
鑑賞部	06
へろへろばばちゃん	07
FULL!フェス	08

# ゆまもと かずこの

## 知りたがりやトーク

朝晩めっきり寒くなってきました。夏から秋をすっ飛ばして冬です。(笑) 着るものに困っておられる方も多いのではないのでしょうか?かく言う私もその一人。昨年は手首を骨折し、チュニックとあったかレギンスにブーツのいでたちで冬の寒さを乗り切りましたが、今現在、着るものがない状態に陥っております。ちょっと痩せたら、一昨年以前に着ていたものが着れるはずなのに…。

そんな寒〜い冬ですが、忘年会にクリスマス、お正月とイベントも多く楽しみです。その一つが街中を彩るイルミネーション。みんな結構好きですよ…光もの。すっかり冬の風物詩になったイルミネーションですが、その起源は16世紀なのだとか。宗教改革で知られるドイツの「マルティン・ルター」が考えたとされています。クリスマスミサの帰り道、もみの木越しに見た星空の美しさに感動したルターは、その感動を子どもたちに伝えたいと、もみの木にロウソクを飾って、その景色を再現してみたのだそう。それが始まりってことらしい。

ルターの時代から100年、17世紀初頭にはドイツでクリスマスツリーの風習が定着、1746年にはアメリカにも伝えられますが、最初にツリーを電球で飾ったのは、発明王「トーマス・アルバ・エジソン」とその共同経営者「ジョンソン」。そこからイルミネーションは本格的に普及していった模様。

一方、日本に登場したのは明治時代。大阪や東京で開催された勸業博覧会の会場を、たくさんの電球で飾ったところから広がったようです。1907(明治40)年、上野公園で行われた博覧会の資料にも「イルミネーション」という記載があったようで、日本でも100年以上前からイルミネーションという語が使用されていたことにちょっとびっくり!

また、舶来品を扱う『明治屋』が銀座に出店し、12月15日から毎晩イルミネーションを点灯、それが話題となり、年々派手になっていく装飾にたくさん



の人が押し寄せたと云います。今も昔も変わらぬ!その一方で、進化したのは電球。当時の光源には豆電球やムギ球が用いられたようですが、LEDやプロジェクションマッピングの出現により、多様なイルミネーションが楽しめるようになりました。

ルターの時代からずっ〜と人々を魅了してきたのはクリスマスイルミネーション。今年はどうな幻想的な光が私たちを楽しませてくれるのか?ワクワクしますね!

### 近隣のイルミネーションイベント

#### ひろしまドリミネーション2023

2023年11月17日(金)~2024年1月3日(水)  
広島県広島市中区 / 平和大通り南北緑地帯他

#### MARIHO DIGITAL ART ROAD

(マリホ デジタル アート ロード)

通年(※休館日などを除く)

広島県広島市西区 / 緑そよぐ大人の海マチ 広島マリーナホップ

#### みろくの里 キラメキノセカイー光源MAGIC(マジック)ー

2023年10月29日(日)~12月30日(土)  
※11月のイルミネーション開催は土日祝のみ  
広島県福山市 / みろくの里

#### ウインターイルミネーション2023-2024 備北イルミ

2023年11月3日(祝) ~ 2024年1月8日(祝)  
※期間中休園日: 毎週月曜日と 2023/12/31(日)、  
2024/1/1(祝・月)。ただし2023/12/25(月)は開園。  
広島県庄原市 / 国営備北丘陵公園

Nextおとな塾

## おとな塾忘年会

【日時】12月13日(水)19:30~

【場所】YYY事務所

みんなに提供できる食べ物と、忘れたいような忘れられないお話をお持ちください



秋の夜長はしつとりと…



## ヴァイオリンとフルートの夕べ



文化、食欲、芸術…何かとやりたいことが多くなる秋ですが、YYYでは「音楽」の秋！ヴァイオリンの華やかで凛々しい音色とフルートの優しく軽やかな音色に癒されました……！曲目はクラシック、歌謡曲、海外の音楽と多様。特に歌謡曲にはアレンジが入っているものもあり、お馴染みの楽曲でもまた違った雰囲気を楽しめました。

演奏者の宮本さんと中元さんはお子さんが同じドッジボールチームで活動していた頃からの知り合いで、現在は共に同じ高校のPTA役員さん。旧知の仲であるからか、演奏も息ぴったり！掛け合いや音の重なりがとても綺麗でした。

途中では楽器の紹介もありました。ヴァイオリン本体の弦を擦って音を出す弓は馬の毛でできていますが、実は漂白した毛を使っているから白いそう。白馬から毛を取る訳ではないんです(笑)また、「魂柱(こんちゅう)」という弦を支える支柱の位置



ヴァイオリン：宮本尚代さん  
フルート：中元裕子さん

が少しでもズレると音が変わってしまう繊細な一面もあるそう。フルートは優しくきらびやかな音色である反面、実はかなり肺活量がいるという裏側も知ることができました。息をすべて吹き込むのではなく、口を当てる部分に息を当てて音を鳴らすそう。こちらも繊細な調整が必要そうです。

後半では参加者が合唱で演奏に参加する場面も。演奏に合わせて「ふるさと」をみんなで歌いました。最後は突然だったにも関わらずアンコールにも応じて頂きました。「カノン」の演奏で会は惜しまれつつもお開きに。これまでになく超豪華で格調高いおとな塾になりました！

「子どもの学びの環境づくり  
～不登校等児童生徒への支援について～」  
を受けて、話しました!

前回のおとな塾で教育委員会の施策は分かった！けど実際のところ、どう思う？

まずは感想の共有からスタート。話はよかったが、知らない保護者も多いのもっとみんなに知ってほしい、みんなの選択肢になってもよいのでは、という声が上がりました。

また、かつて、つばき教室を利用したことのある保護者からは、「元の学級に戻すことが目標のようでもかえってプレッシャーだった」「勉強をしに通っても結局は自習なので、学力保障にはなっていないように思う」との声も。そう、制度はあっても実際に子どもの居場所になれるかどうかは分からない、教育委員会もきっと手探り状態に違いない、とみんなで推測。

別のお母さんからは、「分ける方向ばかりに向かうのは、当事者の子どもの心を汲んだことになるのか？大人が勝手に決めつけているのではないのか？そもそも最初からみんながくつろげる場になるよう学校全体を変えるべきでは？」という意見も。

ここから、会はその他の学校の課題にもヒートアップ。先生が見るアンケートに先生への不満は書き

にくい、中学校は特に締め付けが厳しいように見受けられ、安心して教育を受けられる場所になっていないように思う、指導に問題がある先生の情報は教育委員会に通っているか、などなど。子どもの声が拾っていない場面はまだまだありそうです。

不満や疑問はたくさんあるものの、学校だけで全課題を解決することは不可能。言いたいことは意見として言うべきだけど、保護者も自分にできることを考えて取り組まないといね、という点で着地。分かる幸せ、一緒に過ごす幸せ、そのバランスをとるよう、子どもと一緒にwell-beingについて考えられる大人が必要です。(芥川愛花里)





3年ぶりの中通り！前日、協力店にご挨拶。皆さん、あたたかく迎えてくださいました。

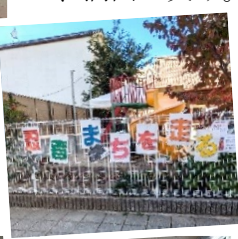
当日、午前中はおとなワーク。心も体もほぐれたところで、お頭から忍者修行の心得を伝授。午後からの修行はせんとく幼稚園スタート。色とりどりの風呂敷で子ども達は忍者に変身！見る・聴く修行ののち、「山」「川」「風」「光」などの合言葉を授かってチームの仲間を探した。

低学年は手渡された写真をヒントにお店探し、商店街へ let's go !

意気揚々と出発したものの、黒忍者の出現にヒヤリ。案山子やカラスなど、変身の術で見事にかわし、忍者の世界に入り込む子どもたち。

合言葉「今何時ですか？」「カレー食べた？」が通じるお店を見つけるには、声を出してのコミュニケーションが必要。少し勇気がいる。

はじめは中々言い出せない子、張り切って声かけをする子、と様々。合言葉が通じた時は、忍者もお店の人も互いにとても嬉しそうで、満面の笑み。次の会話への後押しとなる。





高学年は初の試み！お頭に渡されたアイテムは協力店からお借りしたものです。どこの物かを推理し、元のお店に戻しに行くという「お届け物修行」。額縁の場所がなかなかわからず、あっちへこっちへ行ったり来たり。ついに届けた中国堂書店ではお店の方が「わからなかったでしょう」とニンマリ。

後半は、司令を元にイメージして探し出す修行。(低学年は「変化し続けているもの」高学年は「怪しいもの・場所」を見つけ出して、写メする) 低学年には、少しわかりにくかった？戸惑い気味に商店街を歩き回っている姿が。そうかと思えば、あらゆるものが怪しく見えて走り回る高学年の子どもたち。



最後は恒例、子ども対おとなの「旗とり合戦」。1回戦、すばしっこい子どもたちに敗北したおとな。2回戦、陣地にダミーの旗を置いて、前線は横一列に並びGメン75のように歩く作戦。壁のような姿に圧倒され、おとなの勝利！納得いかない3回戦、士気が上がる子どもたちだったが惜敗。本気で憤慨したけど、互いに手加減なしだった証拠！来年は絶対勝とうね！

ケガ無く終了。各所で交通整理をして下さったスタッフの方、協力して下さった商店街のみなさん、会場を貸していただいたせんとく幼稚園さん、ありがとうございました！（YYY一同）





きかれてうれしい!!  
きいてたのしい!!

# イチオシの曲

『水嶋一江&ストリングラフィアンサンプル』を100倍楽しむための特別企画として、10月半ばから「あなたのイチオシ」を募集することに。

最初は小さなクリアボックスが収集箱。そんなささやかなスタートでしたが、事務所に来た人にはもれなく「推し曲は何ですか？」と聞いてみると。すると「初めてデートしたときの映画の主題歌なんよ」という人や、学生時代のエピソードを懐かしそうに話してくださる人も。思い入れのある曲が、ひとりひとりの人生を彩っていることを感じます。リクエストをもらいながらストリングラフィの紹介をしていくと、「なかなかいい反応!!」これは面白くなってきたぞと急いでリクエスト用紙を追加!! 目標はでっかく「イチオシ1000曲」にするぞ!!

「あの時歌った曲、元気をもらった曲、カラオケの18番(オハコ)、映画音楽、子どもと一緒に歌った曲」と続々と集まってきています。年代、ジャンルは多種多様。昭和・平成の曲を見つけ「あった、あった～、私も好きだった」とその頃の出来事が思い出されタイムスリップしたみたいに懐かしい。

中高生、若い世代のリクエストは見たことのないタイトルに、なんじゃこれ?とハテナが飛ぶ。すかさずスマホで検索すると「あーこれ知ってるー!」っていう曲もあり、うれしくなりました。ボカロと聞いて「初音ミクね」と知ったかぶり、でも調べてみると凄進進化をされていて、スマホが1台あれば曲を作ることができる時代になっていることにビックリ!

そして『ストリングラフィアンサンプルコンサート』は、クリスマスシーズン真っ只中の12月10日。クリスマスソングは?と箱をのぞいてみると、世代によって選曲が違う。年齢を書く欄はないけどけっこう年代を予想できるのがおもしろい!

半月で100枚を超えてきたものの、まだまだ足りない。もっと集めるために2年前「神保彰 ワンマンコンサートの音楽へのラブレター」企画で協力してもらった高校部活へも訪問し、先生や今年の部員にもリクエストしてもらいました。リクエストボックスは小さなケースから大きな箱に換え、キラキラ電飾リボンで飾りグレードアップ。

音楽は無限に人をつないでいきます。皆さんから素敵な曲を教えてもらい、力が湧いてきました。会場で1000曲リクエストも紹介しま～す。

会場全体に数百本の糸を張りめぐらせ、空間全体を楽器に変豹してしまうストリングラフィ。さあこの素敵な楽器の体験を、楽しんでください。会場の中、クリスマスの雰囲気と、お席をご用意してお待ちしています。まだ余裕があるのでまわりの人も誘ってくださいね。あなたのリクエストが演奏されるかも?当日のお楽しみに! (鑑賞部福田)

水嶋一江& 12/10  
ストリングラフィアンサンプルを  
100倍楽しむ特別企画

会場に来る人も  
来れない人も

## あなたのリクエスト大募集

思い出のあの曲! クリスマスには絶対アレじゃん!  
今聞きたいのはこれよわーなどなど  
【あなたのイチオシの曲】を募集します!  
12月10日、世界に一つだけの楽器ストリングラフィ  
で、あなたのリクエスト曲が演奏されるかも...  
で、あなたのリクエスト曲が演奏されるかも...  
YYYの道場でも発表します。エピソードも添えて  
11月15日までにYYYまでお寄せください。  
Mail: kure\_vvy@yahoo.co.jp  
FAX 0823-96-3356

曲名  
♡曲にまつわるエピソード

おなまえ(ペンネームでもOK)





# 厄払いの巻



へろへろばばちゃん

実は私、先日厄除け総本山「由加神社」に駆け込むことに…。というのも、これまでに経験したことがないような悪い出来事が立て続けに起こったからです。

忘れもしません 11月6日の朝、急に夫からの電話が。「俺、いま救急車。」「は？何が起こったん？どういうこと？」と頭に血が上りしばらくパニック状態の私。「どうしよう。わあー！！」となっていたところ運良く、休みだった看護師の娘に連絡が付き、彼女の運転で夫の搬送先の病院へ。仕事場で具合が悪くなったらしく、CTを撮ったり、点滴を受けたり…結局、経過観察のため入院することに。

翌日、夫の入院にも関わらず私は人形劇の公演に。待ってる子どもたちがいるんだから、休むなんてありえません。とにかく無事に公演を終え、さあ帰ろうというところで、守衛さんに呼び止められたのです。車から降りてみると、タイヤがパンクしているではありませんか。チーン！急遽、人形劇の荷物他は他のメンバーに頼み、私と車は人生初のレッカ一車に。

そのまた翌日の朝。夫が入院している病院の駐車場、こりゃどっちに進むの？と迷って、迷って切り替えようとちょっと下がった瞬間、後ろの車にゴツ



ン。これまた人生初の事故、ぶつけた車の方には本当に申し訳ない(T\_T)…。

いよいよやばいぞ、どうなってるんだ私。頭に浮かんだのは、先日たまたま見たパワースポット巡りの本にあった厄除け神社。これは、絶対行かなければと「由加神社」に連れて行ってもらうことに…。

岡山のおもちゃ王国に遊びに行く孫達に便乗して、私的には、必死の思いで、ちゃっかり厄除け総本山参拝。「厄玉の儀」というものにも挑戦、思い切り厄玉を的に向けて投げると、玉は見事にこっぴみじん！やったー!!やっとう気持ちが落ち着きました。

厄を木っ端みじんにしてすっきりしたおかげか、おもちゃ王国では、4人の孫たちと、近年で一番走ったというくらい、彼らを追いかけて走り回りました。なんか、絵本の「へろへろおじさん」みたいについてなかった3日間、でも最後は、孫たちと楽しい時間をすごしながら、へろへろおじさんみたいに、おいしいアイスをもらった気分…。子どもたち、ありがとうね。

そうだ！3月の人形劇「へんてこげきじょう」は孫たちと一緒に観よう！（へろへろばばちゃん）



# FULL!フェス



1月のおとな塾で呉JC“ズッ友創造委員会”のダチくんこと、槇岡達也さんから、呉の高校生で企画する文化祭の立ち上げ話を聞いてから10か月。キャンプなどの交流事業を含め準備してきた祭りが開催されました！

YYYのメンバーからも実行委員が。主体となったプログラムも盛況。荷物置き場として開放していたYYY事務所も一日中、若者が出入りして、エネルギーをおすそ分けしてもらっちゃった！



寒さ吹き飛ばす



ティーンズの熱量！



おとなも  
がんばった！



そろいのパーカーは  
とものデザイン！



■発行日：2023年11月25日(毎月1回発行) ■発行責任者：米本美千恵  
■発行元：特定非営利活動法人 呉子どもNPOセンターYYY 〒737-0051 呉市中央3丁目11-12PANビル3F  
■連絡：0823-24-5646 ■WEB：<http://kure-yyy.org>